

最近の長野県内高速道路の通行量の動向について

長野県内の高速道路インターチェンジの通行量(日本銀行松本支店調べ)をみると、同通行量は07/4月の本統計作成から08/3月まで前年比プラスを続けてきたが、4月以降、7月^(注)を除いて前年割れとなっており、特に6月、8月は前年比▲4%台とマイナス幅が拡大している(図表1、2)。

(注) 7月の増加要因について、関係者からは「関東甲信地方の梅雨明けが今年は7/19日で、昨年(8/1日)より13日も早かったことと、首都圏などが夏休み入りした「海の日」の3連休が好天に恵まれたことが考えられる」との声が聞かれている。

(図表1) 県内高速道路インターチェンジの通行量(出入合計台数)

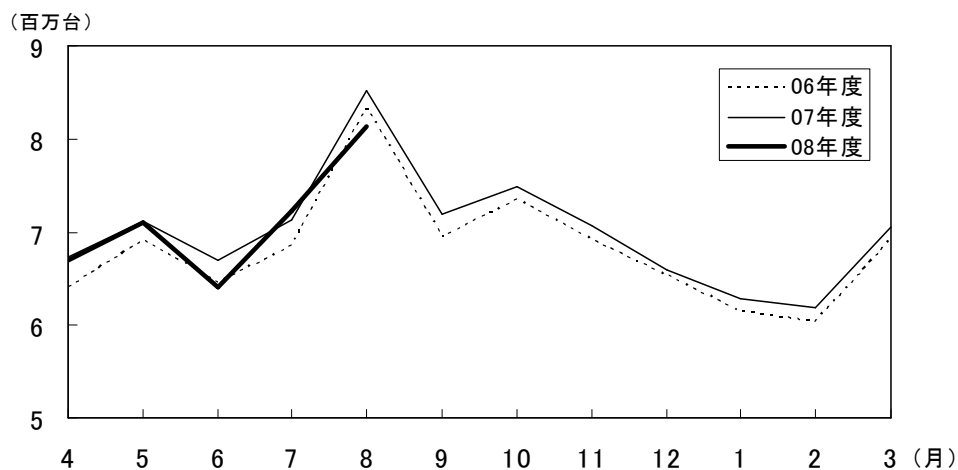
[前年比・%、台]

	合 計						普通車	貨物・バス
	北 信	東 信	中 信	南 信	普通車	貨物・バス		
07 / 4-6	3.9	4.1	5.8	2.8	3.8	3.3	2.5	
7-9	3.1	3.6	3.4	2.2	3.5	2.8	0.8	
10-12	1.7	2.3	3.5	-0.1	1.9	0.8	1.4	
08 / 1-3	2.3	3.2	3.1	0.7	2.7	1.2	2.6	
4-6	-1.7	-0.7	-2.3	-3.0	-1.0	-2.9	-1.4	
7-8	-1.8	-1.4	-1.2	-3.0	-1.4	-2.9	-2.1	
08 / 1	2.4	2.7	4.1	0.9	2.7	1.4	3.3	
2	2.6	3.3	1.5	1.1	3.8	0.1	7.5	
3	2.0	3.5	3.7	0.1	1.7	1.9	-2.1	
4	-0.5	0.4	-1.9	-1.8	0.6	-2.1	1.4	
5	-0.4	1.2	-0.5	-1.8	-0.2	-1.4	-0.7	
6	-4.3	-3.7	-4.7	-5.4	-3.5	-5.4	-4.7	
7	1.4	0.5	3.2	0.2	2.4	0.3	1.2	
8	-4.5	-3.0	-4.6	-5.6	-4.6	-5.4	-5.4	
(実数)	8,129,603	1,975,960	1,330,160	2,240,404	2,583,079	6,106,754	1,133,766	

(注) 1. 北信: 姨捨・坂城IC以北のIC 東信: 上田菅平IC以东のIC(碓氷軽井沢ICを含む)
 中信: 麻績IC~塩尻ICおよび安房峠料金所 南信: 岡谷IC以南のIC
 2. 普通車: 主に小型自動車、普通乗用自動車
 貨物・バス: 主に普通貨物自動車、バス(マイクロバスを含む)、トレーラ(一部を除く)

(資料出所) 日本銀行松本支店

(図表2) 県内高速道路インターチェンジの通行量(出入合計台数)

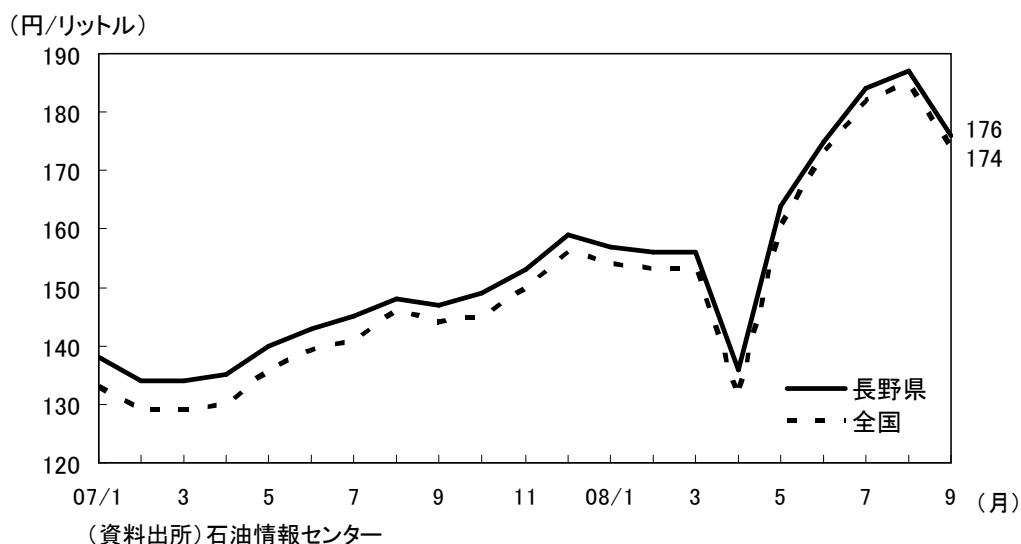


(資料出所) 日本銀行松本支店

この背景については、各方面へのヒアリング情報を総合すると、昨年に県内全域で見られた大河ドラマ「風林火山」効果の剥落や天候不順などの要因も考えられるが、ガソリン価格の上昇(図表3)により乗用車の利用が減少していることが大きく影響しているものと考えられる。

—— 多くの県内観光地では、「マイカーを利用した県内外からの観光客が減少している」という声が聞かれる。また、いくつかの大型商業施設でも駐車場利用の減少が目立っており、「今年の夏は新幹線を利用した来店が多い」とか「県外ナンバーの乗用車が減少している」といった遠方からのマイカー利用の来店客の減少が目立つという話が聞かれている。このほか、県内の多くのガソリンスタンドでは、いずれも売上数量の減少が顕著で、特に「レギュラーガソリン価格が180円を超えた7月頃から客数が大幅に減少している」という声が聞かれる。

(図表3) 県内レギュラーガソリン価格の推移



ガソリン価格は足もとやや低下しているが、それでも昨年までの水準と比べれば引き続き高値圏内にあることから、長野県内経済への影響について引き続き注意してみていく必要がある。

以 上